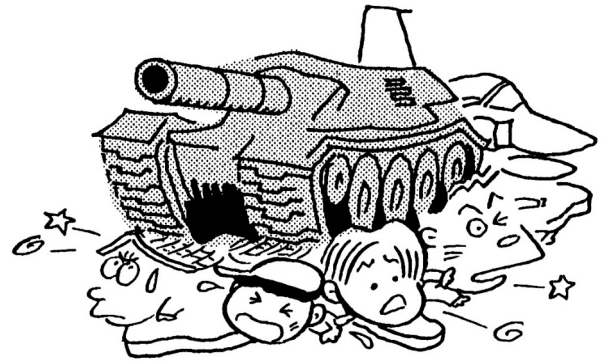


5年で43兆円の軍拡狙う 軍拡財源法案を廃案へ

軍事費負担
国民1人当たり
34万円

今年度から5年間の軍事費に43兆円もの巨額をつぎ込む大軍拡に向けた軍拡財源法案が、5月23日の衆院本会議で可決し、参議院で審議されています。

日本とアジアの平和を脅かす敵基地攻撃能力保有をはじめ、他国への攻撃のための大軍拡を推進する憲法違反の法案は、国会における徹底審議と、世論の力で廃案に追い込みましょう。



【財政民主主義に反する】



岸田政権が昨年末に決めた安保3文書は、2023～27年度までの軍事費総額を43兆円にするとしています。政府は、そのために14・6兆円の追加歳出が必要になるとし、▽税外収入による「防衛力強化資金」の創設、▽決算剰余金の活用▽税制措置（増税）、▽歳出改革一で賄うとしています。軍拡財源法案は、この重要な柱である「防衛力強化資金」の創設を定めるものです。

政府は、特別会計などの流用による税外収入で4・6兆円を確保し、うち1・2兆円を23年度の軍事費に充て、残りの3・4兆円を「防衛力強化資金」に繰り入れ、24年度以降の軍拡に使っています。同資金は、防衛省が複数年度にわたって自由に使える「ポケットマネー」とも言えるものです。会計年度ごとに予算を作成し国会で審議する「単年度主義」＝財政民主主義に反します。

【医療の資金まで軍拡に回す】

4・6兆円の税外収入には、国立病院機構や、社会保険病院などを運営する地域医療機能推進機構の積立金の一部を返納させることも含まれています。国公立病院では、建物の老朽化や医療機器が購入できなかつたり、劣悪な勤務のもと看護師の大量離職への対応などの経費を必要としています。医療に回すべき財源を軍拡に回すのは本末転倒です。

このほか、国の会計で歳入が歳出を上回った差額である決算剰余金の活用では、3・5兆円が見込まれています。決算剰余金はこれまで、補正予算の財源に充当されてきました。これを軍拡に回せば補正予算の財源が不足し、赤字国債の増発が避けられませんが、「国債ロンダリング（洗浄）」との批判が起きています。国債を軍拡の追加財源にはしないと政府の説明とも矛盾します。



【大震災の復興財源まで軍拡に回す】

政府はまた、増税によって最大3・5兆円を確保しようとしています。昨年末に決めた「税制改正大綱」は法人税、たばこ税の増税に加え、復興特別所得税の約半分を軍拡財源に回すことにし、来年以降に実施するとしています。東日本大震災の被災地復興のための財源を軍事費に転用することには怒りが広がっています。

【消費税増税、社会保障のさらなる削減も】



加えて政府は、歳出改革によって3兆円強を捻出しようとしています。「社会保障関係費以外」で行うしていますが、医療や介護、年金などの改悪が続いており、その保証はありません。27年度までの大軍拡の後も軍事費をさらに増やすことなどになれば、消費税増税や社会保障関係費のさらなる削減が狙われることは明らかです。

法案を廃案に追い込むため、世論と運動をいっそう大きくすることが必要です。

ミサイルより
平和外交を

大軍拡の先に飢餓が待っています！

毎日、イモ中心の食事に耐えられますか！

たまご=7日に1個

牛乳=6日にコップ1杯

食肉=9日に1食

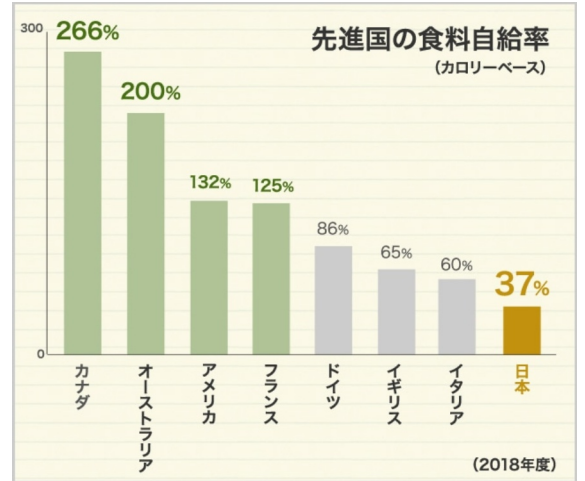
有事に食卓はどうなるか？

【農水省が作成】

有事に食料輸入がストップした場合、日本の食卓がどうなるかを、2019年度に農水省はイラストで示しています。それによると、三食がイモ中心の食事。これでは、育ち盛りの子どもたちに必要な食事を保障することも出来ず、まさに飢餓が待ち受けています。

岸田政権は、「安保3文書」に基づいて、大軍拡ををすすめ、日本を「戦争する国」に変えようとしています。

日本の食料自給率は37%（カロリーベース）。戦争になれば国民は、満足な食事でもできず、いのちの危険に直面します。戦争は、最も愚かな選択です。政府は、大軍拡・ミサイルよりも平和外交にこそ全力で取り組むべきです。



国内生産のみで、2,020kcalを供給する場合の食事メニュー例(現行計画)

朝食



茶碗1杯
(精米75g分)



粉吹きいも1皿
(じゃがいも2個・300g分)



ぬか漬け1皿
(野菜90g分)

昼食



焼きいも2本
(さつまいも2本・200g分)



蒸かしいも1個
(じゃがいも1個・150g分)



果物
(りんご1/4・50g分相当)

夕食



茶碗1杯
(精米75g分)



焼きいも1本
(さつまいも1本・100g分)



焼き魚1切
(魚の切り身84g分)

調味料(1日分)

砂糖小さじ6杯、油脂小さじ0.6杯

OPFCバランス

P:12(13)、F:10(29)、C:78(58)

※()内は平成18年度の値

2日に1杯



うどん
(小麦53g/日分)

2日に1杯



みそ汁
(みそ9g/日分)

3日に2パック



納豆
(大豆33g/日分)

6日にコップ1杯



牛乳
(牛乳33g/日分)

7日に1個



たまご
(鶏卵7g/日分)

9日に1食



食肉
(肉類12g/日分)

農林水産省が作成した有事の食卓メニュー例 農水省HPから

